

整理番号	研究一2
------	------

研究テーマ概要

研究開発プログラム	航空安全技術プログラム		
研究開発計画	DREAMSプロジェクト		
研究課題名	新しい航空気象情報に関する研究	研究期間	最長2年
		上限資金	4百万円以下 (2百万円/年)
		研究形態	共同研究 (有償)
(1)位置づけ			
DREAMSプロジェクトでは、国土交通省航空局が策定した「将来の航空交通システムに関する長期ビジョン(CARATS)」の実現に資する研究開発を実施している。CARATSでは、気象情報を運航判断に定量的に活用することにより、気象現象の影響(出発・到着の遅延、欠航、飛行時間の増大等)を低減しつつ、航空交通容量の拡大、および環境負荷の低減(運航の効率性の向上)を図ることを目指している。その具体的施策として「気象観測・予測情報の高度化」が挙げられており、本研究はその施策の実現に必要な技術要素を提供することが期待される。			
(2)目的			
本研究では、航空機運航の安全性、効率性向上に有効な航空気象情報の生成・活用方法について研究を行う。例えば、新規センサや複数のセンサの組み合わせによる新規の航空気象情報、あるいは現状より高精度の航空気象情報の生成・活用、短時間気象予測(ナウキャスト)情報の生成・活用、等が対象となる。			
(3)動向・解決すべき課題・問題点の所在			
近年、気象観測センサの空間/時間分解能の向上や従来は不可能だった観測(雪氷状態のリモートセンシング等)が可能となると共に、数値気象予測も空間/時間分解能の向上や信頼性情報の付加が進み、高精度・高頻度予測が可能となりつつある。しかし、航空機運航において、これらの新しい気象情報は未だほとんど活用されておらず、その活用方法を検討し、運航現場に提案する必要がある。			
(4)期待する成果			
航空機運航の安全性、効率性向上に有効な航空気象情報の生成・活用方法の提案。例えば、新規センサや複数のセンサの組み合わせによる新規の航空気象情報、あるいは現状より高精度の航空気象情報の生成・活用、短時間気象予測(ナウキャスト)情報の生成・活用、等が対象となる。			
(5)JAXAが提供できる事項			
航空気象情報の活用に関する情報(世界的な動向や、活用方法に関するアドバイス)			